

事業所名

放課後等デイサービス ちゅらくくる

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日

2025 年

3 月

21 日

法人（事業所）理念		児童と共に遊び 共に学び 夢へと進み続ける支援をし 地域になくてはならない事業所を目指します									
支援方針		①子どもの持っている能力を伸ばし、自立力を向上させる個別支援計画を作ります。 ②ご家族や関係機関と情報共有を図り、適切な環境を作ります。									
営業時間	登校日	10 時	0 分	から	18 時	0 分	まで	送迎実施の有無	あり	なし	
	休校日	9 時	30 分	から	17 時	30 分	まで	営業日	月曜日～土曜日（祝祭日含む）		
		支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	◆日常生活動作及び手段的日常生活動作の獲得（手洗い・勉強学習・食事の姿勢など） ◆定期的な心身の把握（毎通所時の観察・会話・個別活動） ◆食育（プログラム例：おやつ作り・クッキング） ◆将来の自立を見越した日常生活スキルの向上（買い物・お金の計算など）									
	運動・感覚	◆姿勢と運動・動作の基本的技能の向上や姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用 プログラム例：ゲーム大会、散歩、季節毎の工作やクッキングでの調理器具や工作道具の使い方等 ◆姿勢や運動、基本的や応用的動作能力の向上(集団・個別療育) プログラム例：体力測定、サーキット、体幹トレーニング、ダンス、プール等									
	認知・行動	◆小集団での活動や遊びのなかで、適切な行動を習得する（認知の偏りに配慮する） ◆こだわりや偏食に対応する（プログラム例：おやつ作り・クッキング） ◆空間、時間、数の概念など認知発達を促す環境設定(お金の計算や時間の学習など) ◆認知の特性についての理解と対応（プログラム例：計算ゲーム、英語、歌、科学実験、音楽活動）									
	言語 コミュニケーション	◆挨拶や場面に合った言葉使い、人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得 ◆読み・書きに対する学習支援 ◆コミュニケーションの基礎能力の向上や手段の活用(プログラム例：SST・発表する機会の提供・ロールプレイ) ◆言語の受容と表出									
	人間関係 社会性	◆小集団や集団での遊びやゲームを通して人との関わり方や接し方を学ぶ ◆社会体験や地域交流の場を設ける（プログラム例：外食体験・地域の掃除・お茶摘みなど） ◆自己理解、他者理解への支援(SST・社会体験・個別活動)									
家族支援		◆お子さまの様子を保護者へ報告・面談を通じて発達状況や支援のニーズ確認 ◆お子さまとの関わりの方々の様々な不安や困り事に寄り添い、相談や助言を行う ◆預かりによる保護者のレスパイトケア						移行支援		◆放課後児童クラブ（育成）等との併用利用している場合における 併行利用先との連携 ◆具体的な移行先との調整、相談援助、連携	
地域支援・地域連携		◆相談支援事業所や障害福祉サービス事業所との連携 ◆学校や併用利用先との情報共有 ◆自治体等で開催される会議等への出席						職員の質の向上		◆定期的な療育会議、職員会議、活動会議の実施 ◆職員の各種勉強会や研修への参加	
主な行事等		◆正月・節分・ひな祭り・子供の日・七夕祭り・夏の水遊び・お月見・ハロウィンパーティ・クリスマス会・お子さまのお誕生日会・避難訓練など									